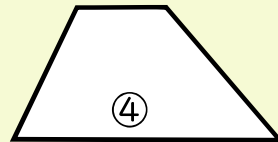
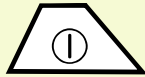


数量や図形及びそれらの関係に着目する（小学校第6学年）



①と形が同じに見えるのは、②～④のどれですか。



②は縦の長さが同じだけど、横の長さが違うかな。
③は横の長さが同じだけど、縦の長さが違うよね。



対応する辺の長さの比や角の大きさに着目すると、
④が同じに見えるな。



数量や図形及びそれらの関係に着目する（中学校第1学年）



①、②では、2つの異符号の数をたしたとき、和の符号はどのようになりますか。

① $(+9) + (-4)$	② $(-10) + (+4)$
$= + (9 - 4)$	$= - (10 - 4)$
$= +5$	$= -6$

①は+9と同じ符号になっていて、
②は-10と同じ符号になっているね。



異符号の2つの数の和の符号は、
絶対値が大きい方の符号になっているな。

